

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 19 日作成)

小委員会名	都市と気候適応小委員会	主 査 名：大岡龍三 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：外岡 豊
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・都市気候は多様な要因が複雑に絡む現象であり、対策を推進するに当たっては気候変動への適応策を含め発生メカニズムの解明と対策技術の立案を行う必要がある。本小委員会では多様な要因、スケールで生じるヒートアイランド現象のメカニズムの検討を行うと共に、適応策の視点を含めて行政・自治体等の社会事業に役立つ効果的な方策を提案する。</p> <p>・2013 年度：課題設定に基づく検討、公開勉強会の開催</p> <p>・2014 年度： 成果とりまとめ</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>大岡龍三 (東大生研), 成田健一 (日本工大), 一ノ瀬俊明 (国立環境研究所), 渡邊浩文 (東北工大), 足永靖信 (建築研究所), 鍵屋浩司 (国総研), 玄地 裕 (産総研), 近藤靖史 (東京都市大), 谷本 潤 (九大), 鳴海大典 (阪大), 橋本 剛 (筑波大), 持田 灯 (東北大)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	GCM を活用した近未来標準気象データの作成 WG 東アジア諸都市のヒートアイランド対策ガイドライン検討 WG	
2014 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. GCM を活用した近未来標準気象データの作成 WG の成果を本学会技術報告集にまとめた。</p> <p>2. 東アジア諸都市のヒートアイランド対策ガイドライン検討の成果を本学会技術報告集にまとめた。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	ヒートアイランドの問題は、地球温暖化の問題との相互作用を考慮する必要があるが、そのことが、逆に議論を複雑にしており、きちんとした議論を社会に発信すべき必要性はむしろ増している。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。